

平成30年5月31日

宮津市議会議長 松浦 登美義 様

総務文教委員会  
委員長 城崎 雅文

## 総務文教委員会 所管事務調査報告書

本委員会は去る平成29年8月30日の委員会において、所管事務調査のテーマを「シティプロモーションについて」と決定した。シティプロモーションとは、定住人口を増やすために本市の魅力を市内外に積極的に発信する取り組みである。

このたび、テーマについて委員会として取りまとめを行ったため、最終報告を行う。

調査概要については、次のとおりである。

### 1 調査日

平成29年	8月30日	所管事務調査事項の議決
	10月3日	調査研究
	11月1日	執行部(総務部・企画部)との意見交換
	11月8日	神奈川県逗子市へ先進地視察調査
平成30年	1月16日	視察報告、執行部との意見交換
	3月13日	調査研究
	5月17日	所管事務調査報告書の議決

### 2 調査内容

宮津市の情報発信力、宣伝力の弱さについては以前から様々な場面で多くの市民の方から指摘されている。一例を上げると、宮津市が行った地域創生懇談会では、栗田地区からは、「養殖業、漁業の知名度向上を」、上宮津地区からは、「子育て支援が充実していることの発信強化を」、府中地区からは、「宮津の住み良さや魅力の積極PRを」、その他団体からは、「市民の目にとまるような情報発信の工夫を」「子育て支援情報の発信強化を」など、広報や情報発信に関する意見が多数寄せられている。また、宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中でも「定住につながるシティプロモーション等の実施」の

項目で、「選ばれるまちになるための情報発信」を重点施策として掲げている。

こういった問題意識のもと、宮津市の魅力を内外に発信し、選ばれるまちになるためにはどうすればいいかを重点におき、「シティプロモーションについて」調査を行った。

まず、本市の総務部・企画部と意見交換を行った。本市のシティプロモーションの現状について、「シティプロモーション専属のセクションはないが、企画部企画政策課が関係部署と連携して定住につながるシティプロモーションの戦略を練り、その情報を総務部秘書広報係が、あらゆる媒体を活用して発信することとしている。」との説明を受けた。

次に、先進地視察を行った逗子市では、まだ取り組んでいない事業や、道半ばの事業もあったが、シティプロモーション戦略を自前で策定し、全職員のシティプロモーションに対する意識統一を図られており、全庁体制で取り組むことの大切さを学ぶことができた。

その後、執行部に対して先進地視察の報告を行い、再度意見交換を行った。

### 3 委員会で一致した意見

調査テーマについて、委員会として一致した意見は以下のとおりである。

「シティプロモーションについて」

- ① 本市のシティプロモーションの具体的な内容や方向性を示し、全庁で意識統一を図るためのシティプロモーション戦略を策定されたい。
  
- ② シティプロモーションを推進するため、担当部署を明確にされたい。